

## 令和4年度西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟の活動状況について

令和4年度の西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟の活動状況について、以下のとおり報告する。

### 1 決起大会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を徹底した上で社会活動を継続する、いわゆる「ウィズコロナ」の風潮が高まっている社会情勢の中、参加人数を制限した上で、3年ぶりに決起大会を開催した。

#### (1) 開催日時

令和4年(2022年)8月23日(火) 午後2時~2時50分

#### (2) 場所

野方区民ホール

#### (3) 参加人数

99名(理事、来賓含む)

#### (4) 大会決議文

別紙1のとおり。

### 2 「開かずの踏切」に関するアンケートの実施について

令和4年度の決起大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から参加人数の制限を設けて実施した。そこで、新たな試みとして決起大会前に「開かずの踏切」に関するアンケートを実施して、会場に来られない方の想いも集約する方法を導入した。

「開かずの踏切」に関するアンケートの集計結果は、別紙2のとおり。

### 3 要望活動

#### (1) 国

令和4年(2022年)12月13日(火)、国土交通省を訪問して、対面方式での要望活動を行った。都市局街路交通施設課長には事業の概要説明を行ったうえで、要望書等(要望書、大会決議文、「開かずの踏切」に関するアンケート集計結果)を手渡し、その他関係各所には要望書等を持参した。

また、財務省の関係各所には要望書等を郵送した。

国土交通省宛での要望書は、別紙3のとおり。

**(2) 東京都**

令和5年(2023年)1月23日(月)に、期成同盟会長、中野区長、中野区議会議員が東京都を訪問し、対面方式での要望活動を実施した。

**(3) 西武鉄道株式会社**

西武鉄道株式会社については、要望書等を郵送する予定である。

**西武新宿線連続立体交差化実現による踏切渋滞解消に関する決議**

西武新宿線沿線の新井薬師前、沼袋、野方、都立家政、鷲ノ宮の各駅周辺は、都心に近く利便性の高い地域として、今後の発展が期待されている。

しかしながら、この地域の踏切の多くがいわゆる「開かずの踏切」のため、慢性的な交通渋滞や踏切事故の危険性、通学時に踏切を渡る児童・生徒の安全確保など切実な問題を抱えており、地域の健全な活動や発展を妨げている。

そこで、「開かずの踏切」の早期解消を図るため、中野区民が一体となって力を結集し、関係機関に対して必要な措置を講ずるよう要請するなど、連続立体交差事業による「開かずの踏切」の解消促進に取り組んでいるところである。

連続立体交差事業を契機とした沿線のまちづくりは、地域の発展に大きく寄与するものである。既に事業化されている中井駅～野方駅間については、早期事業完了に向けて、近隣住民の生活環境の保全や安全の確保に細心の注意を払いながら工事を進めていくことが重要である。中野区では、駅周辺地区で、区画街路第3号線交通広場や区画街路第4号線等の用地取得を進めている。さらに、市街地再開発事業等による駅前拠点機能の整備に向けた取組を行うなど、地域と協働したまちづくりを着実に推進しているところである。また、地下化により新たな土地利用が可能となる鉄道上部空間については、駅周辺や沿線まちづくりとの整合を図りながら、地域の意見等を踏まえて検討していくことが重要である。

野方駅～井荻駅付近の連続立体交差化計画について、東京都は国から着工準備採択を受けている。また、区による沿線まちづくりは、都立家政、鷲ノ宮の両駅周辺地区に続いて野方駅周辺地区でも、今年二月、「まちづくり整備方針」が策定された。地域では、まちづくりの検討も進んでいることから、野方駅～井荻駅付近の連続立体交差化計画の早期事業化への期待がより一層高まっている。

今後とも引き続き、中野区民は、「開かずの踏切」の一日も早い解消と、よりよいまちづくりのため、更なる活動を推進するとともに、次の事項について関係機関に強力に働きかけを行うものとする。

- 一、西武新宿線(中井駅～野方駅間)の連続立体交差事業の着実な推進を図ること。
- 一、西武新宿線(野方駅～井荻駅付近)の連続立体交差化計画の早期事業化を図ること。
- 一、連続立体交差事業及び沿線まちづくり事業に関し、将来に亘り、安定した財源を確保し、事業に必要な予算を確保すること。

右、決議する。

令和四年八月二十三日

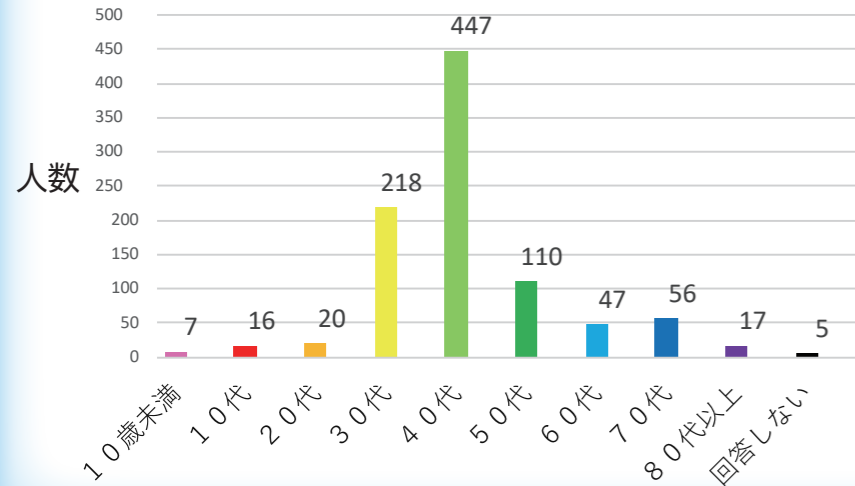
西武新宿線踏切渋滞解消促進進期成同盟

《回答者概要》

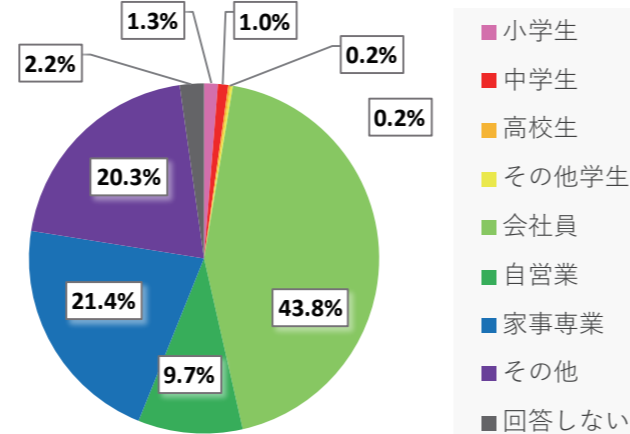
総回答数 **943**名

アンケート用紙での回答：86名  
インターネットでの回答：857名

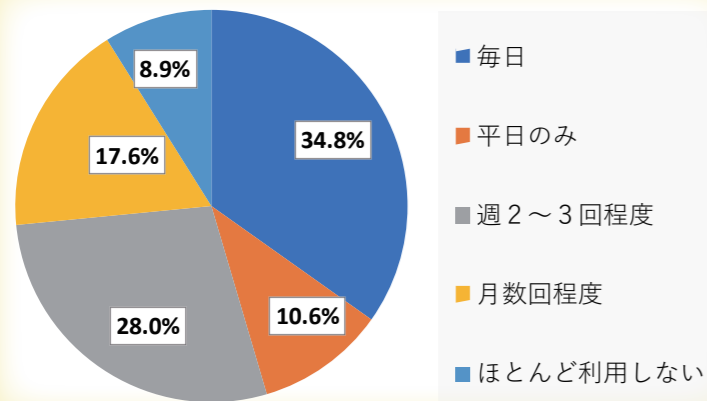
☆回答者の年齢層



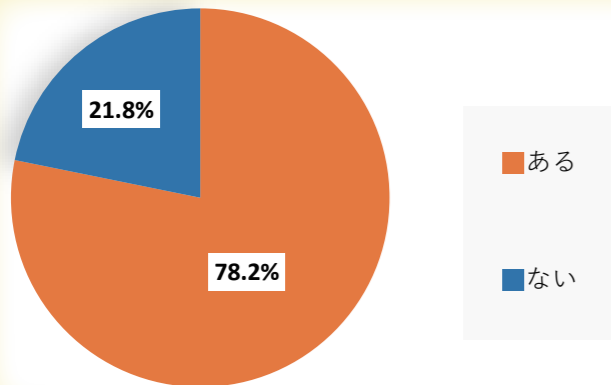
☆回答者の職業等



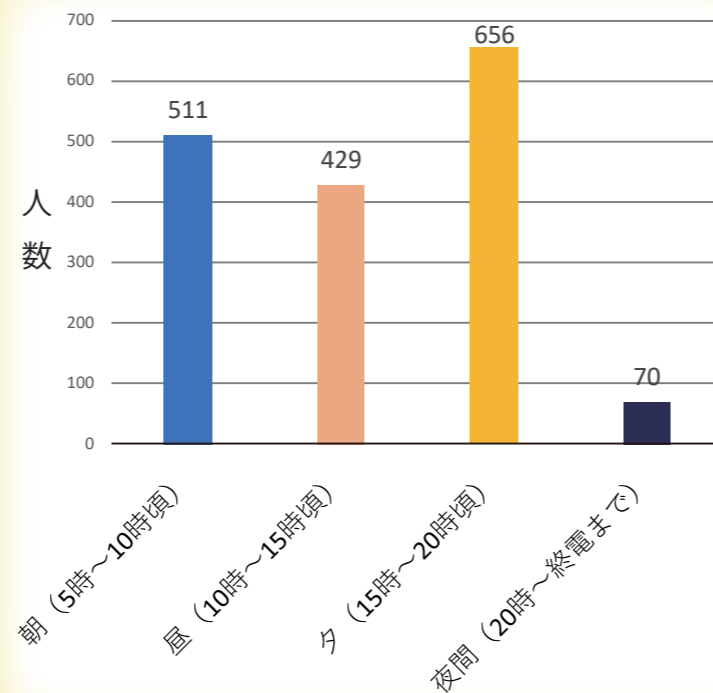
Q1. 踏切を渡る頻度はどのくらいですか。



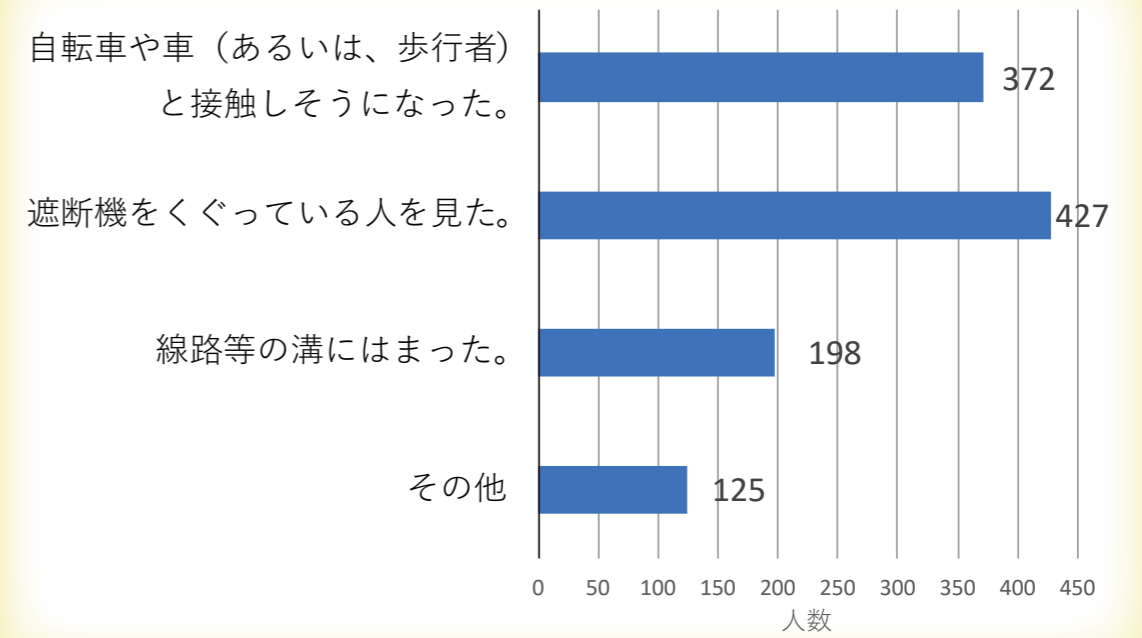
Q3. 踏切を渡る時に危険を感じたことがありますか。



Q2. どの時間帯に踏切を渡ることが多いですか。



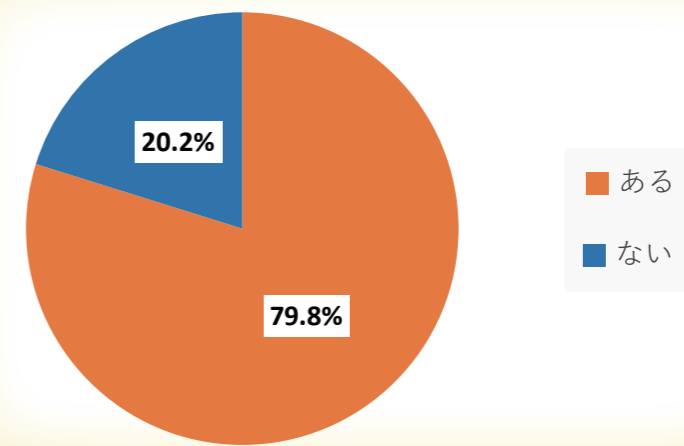
Q4. どのようなことが危険だと感じましたか。



《その他に寄せられた意見》

- 踏切が開いてもすぐに閉まってしまうため、渡り切れずに踏切内に取り残されてしまった。（取り残されてしまった人〔高齢者など〕を救助したことがある。）
- 歩車分離ができていない道路に踏切があり、踏切が開いた瞬間に車・自転車・歩行者が一齐に飛び出していくため、非常に危ない。
- 踏切内の歩行者通行部分の舗装が悪い、踏切の前後が傾斜しているなど、歩きづらい環境であるため、転倒してしまった。
- 遮断機自体にぶつかってしまった。
- 雨の日はレールが濡れて滑りやすくなっていて、転びそうになった。

Q5. 踏切の遮断時間が長い（あるいは、開いてもすぐに閉まってしまう）せいで、予定時間に間に合わなかったことはありますか。



次ページへつづく



## Q6. 開かずの踏切について、問題だと感じていることをお書きください。

寄せられた意見

536

件

※主な内容を抜粋して載せています。

### 《待機場所及び踏切内の環境について》

- 踏切の待ち時間が長く、暑い日は熱中症になりかけた。
- 踏切が開かないことで商店街で車が渋滞している。  
車の間を、歩行者や自転車が行き交っており、危険である。
- 踏切に交通整理をする人がおらず、子どもやお年寄りを守る気がないことが問題である。
- 事故が起きた際に、駅構内であればあと何分で動くなどの情報を得られるが、踏切だと全くわからない。
- 待ち時間が長いと待機場所でタバコを吸う人もいて、具合が悪くなったことがある。
- 遮断機があっても電車が近い距離で通過するので怖い。
- 踏切が開いても、歩行者や自転車が一齐に動き出すので、車は身動きが取れない。

### 《子どもたちの通学時等について》

- 子どもたちの通学時に踏切が開かないことで遅刻してしまうし、踏切をくぐって渡る大人を見て真似して渡らないか、とても心配。
- 踏切が開いたとしても一齐にみんなが渡ろうとするので、接触して転倒してしまい、大怪我をしたらと思うと気が気でない。
- 人身事故が起きると、踏切が全く開かない。遅延している際、子どもたちでは判断できず、何分も待つことになってしまうのではないかと  
思う。
- 今後、小学校の統合などにより、踏切を通過して通学する子どもがさらに増えると思うので、歩道橋や地下道の設置をしてほしい。  
歩道橋や地下道を設置すれば、みんなが安全に通行できるので検討してほしい。

### 《連続立体交差事業について》

- 地下化の工事がなかなか終わらないし、一部の区間しか地下化されないのでは、根本的な解決にならない。
- 開かずの踏切の解決に、時間がかかりすぎている。知らぬ間に工事延長されていて、終わりが見えない。
- 地下化の工事が予定通り終わってれば、踏切を通らずに通学できた子どもたちも多く存在する。この件に関する行政の責任は大きいと思う。
- 野方以西は、地下化にして明るいまちにしてほしい。
- (野方以西は、) 早急に高架化してほしい。

### 《時間的損失・精神的負担について》

- 踏切通過のために、30分程度(雨の日だと1時間程度)余裕を持って家を出ないと、予定の時間に間に合わない。
- どのくらいで踏切を通過できるか時間が読めないことにより日タイライラしてストレスがたまる。
- 踏切が閉まってからなかなか電車が来ないことがあり、今のタイミングで渡れたのではないかとイライラすることが多い。
- 踏切を渡るのに時間がかかるため、迂回しようとするとかかなり遠回りになり、それはそれで時間を無駄にしていると感じる。
- 踏切を渡るバスの多くは、遅延が発生している。
- 踏切が開かない事にイライラした人が、大声をあげていて怖かった。
- 踏切があると飛び込んでしまう人もおり、目撃した人には心の傷になると思う。

### 《周辺地域への影響、地域発展の阻害、経済的損失について》

- 踏切の手前で立ち往生する緊急車両を見かけると、いつもハラハラする。  
人命救助は一分一秒を争うことなので、早急に踏切をなくしてほしい。
- 踏切がほとんど開いていないので、西武線の駅の利用を避けるようになった。
- 駅をまたいで買い物を控える人が多く、経済的な損失も相当あるのではないかと  
思う。
- 踏切が開かないと車が動けないため、お客様に迷惑がかかってしまう。
- 踏切があることで、まちが南北に分断されてしまい、それぞれの発展を阻害している。商店街はシャッター街化しているところもある。
- 踏切があることで様々な不便が生じているため、居住地として西武新宿線の沿線を選ばなかった。そういう人が増えれば、まちは廃れていってしまう。

### 《その他》

- テレビで見るほど危ないわけではないと思う。
- 現状でも不便は感じない。急ぎの人は駅の階段を利用すれば問題ないし、バスの運行も通常時は不便を感じない。



## Q7. その他期成同盟に対してご意見などがございましたら、ご自由にお書きください。

寄せられた意見

119

件

※主な内容を抜粋して載せています。

- これからも継続した活動に期待している。頑張ってください。
- 野方から鷲ノ宮に対してが、10年前から全く進んでいないと感じます。形だけの会ではなく、きちんと国、都、区、西武鉄道に対して申し入れいただき、1日も早く、さまざまな解決に至っていただきたいと思ひます。
- どのような団体か存じ上げない。こういう同盟があることを知らなかった。
- 西武鉄道にもっと強く発言をして、工事の進捗状況などの情報を開示してもらおうようにしたり、地域の住民と話し合い、良い駅舎、良い空間を作っていくというような方向に仕向けるようにしていただけたら嬉しいです。

その他、通学路の踏切対策についてや、野方以西の構造形式に関するご意見もいただきました。

たくさんのご回答ありがとうございました！

# 西武新宿線連続立体交差化実現による 踏切渋滞解消について

開かずの踏切が多く含まれる中野区内の西武新宿線においては、踏切における慢性的な交通渋滞が深刻な問題となり、平成16年1月に中野区民、中野区議会および中野区の三者による西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟（以下「期成同盟」といいます。）を結成し、踏切の渋滞解消に向けて活動を行っています。

中野区内の西武新宿線では、既に事業化している中井駅～野方駅間の工事が日ごとに進捗しています。今後とも、早期事業完了に向けて、工事を進めていくことが重要となります。また、地下化により新たな土地利用が可能となる鉄道上部空間については、駅周辺や沿線まちづくりとの整合を図りながら、地域の意見等を踏まえて検討していくことが重要となります。

野方駅～井荻駅付近の連続立体交差化計画について、東京都は国から着工準備採択を受け、事業化に向けた検討が進められています。区では、各駅周辺地区の「まちづくり整備方針」を策定しており、地域ではまちづくりの検討も進んでいることから、計画の早期事業化への期待がより一層高まっています。

期成同盟では、中井駅～野方駅間の連続立体交差事業の着実な推進を図ること、着工準備採択を受けている野方駅～井荻駅付近の連続立体交差化計画の早期事業化を図ることを望んでおり、令和4年8月23日に期成同盟決起大会を開催し、別添のとおり決議しました。

国土交通省におかれましては、下記の事項について特段のご配慮をいただきますよう、お願い申し上げます。

## 記

- 1 西武新宿線(中井駅～野方駅間)の連続立体交差事業の着実な推進を図ること。
- 2 西武新宿線(野方駅～井荻駅付近)の連続立体交差化計画の早期事業化を図ること。
- 3 連続立体交差事業及び沿線まちづくり事業に関し、将来に亘り、安定した財源を確保し、事業に必要な予算を確保すること。

以上